

# 第3学年\*組 道徳学習指導案

指導者

## 1 主題名 誠実に生きる 1-(3)

### 2 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする価値について

内容項目1-(3)は「自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任を持つ」である。

人間として生きていく上で、自ら考え、判断し、誠実に実行して結果に責任をもつということは、望ましい自己の形成を図る上で重要なことであり、社会生活の基盤となるものである。しかし、自らを律し行動に移すことは難しく、感情のままに行動してしまったり、責任を他人に転嫁してしまったりすることも少なくない。中学生の時期は、自主的に考え、行動することができるようになるが、その一方で自由の意味をはき違え、自分の行為が自分や他人にどのような結果をもたらすかを深く考えない面も見られる。そこで、善を行おうとする良心の大切さに気付き、責任をもって誠実に行動する実践力を育てたいと考え、本主題を設定した。

本資料「にじんだ文字」（笠間市立稻田中学校自作資料）は、清掃中に誤って掲示物をぬらしてしまった主人公が、悩みながらも最終的には自分から先生に話しに行く姿が描かれている。生徒にとって身近な話題であり、共感をもって読むことができるため、自分の生活を見直しながら、誠実であるとはどういうことなのかを考えることができる資料である。

#### (2) 生徒の実態 (男子\*人 女子\*人)

本学級の生徒は明るく、素直である。3年生になり、中学校生活最後の1年を充実したものにしようと、様々なことに意欲的に取り組んでいる生徒がほとんどである。しかし、自己中心的な考え方やその場の感情に流されてしまい、誠実な行動がとれないこともある。事前に行った実態調査の結果は以下のとおりである。【生徒の意識及び実態調査】 (平成\*年\*月\*日実施 3年\*組\*人)

Q	生活用品店に行き、陶器のコップを見ていきました。棚の奥に気に入ったものがあり、それをとろうとしますが、うっかりコップにひびが入ってしまいました。しかし、近くには誰もおらず、お店の人も気付いていません。あなたは、お店の人に言いますか？
	ア、言う (*) イ、たぶん言う (*) ウ、たぶん言わない (*) エ、言わない (*)

アンケートの結果から、進んで謝罪をすることができず、自分の行為に責任をもつことができない面があることが分かる。そこで、本題材を通して、善を行おうとする良心の大切さに気付き、誠実に行動しようとする態度を育てていきたい。

### 3 指導計画及び教育活動全体における道徳の時間との関連

事 前	<p>行事「修学旅行」(第3学年5月)</p> <p>○修学旅行では、自主・自律をテーマに学年全体として取り組んできた。持ち物や、出発から帰宅までの約束事項など、自分たちで考えることにより、規範意識が高まるように働きかけた。また、自分たちで決めたことを、最後までやり抜くことで、自己の考え、行為に責任をもち、誠実に実行できるような態度を育てるようにした。</p>
本 時	<p>道徳「にじんだ文字」</p> <p>○導入では、一人一人が「誠実」というものをどのように捉えているのかを自覚できるようにする。その後、資料を通して主人公の人間としての弱さを認めつつも、それを克服し、自分の行動に責任を取ろうとしたことに気付かせる。終末では、主人公と自分を比べたり、今まで臨んできた学校行事などを想起したりして、「誠実」な態度がとれていったかを振り返る。そうすることで、責任をもって誠実に行動する実践力を育てたい。</p>
事 後	<p>学級通信(年間を通して発行)</p> <p>行事「体育祭」(第3学年9月) 「合唱コンクール」(第3学年10月)</p> <p>○学級通信を通して、道徳での意見などを紹介し、他者の意見から自分の考えを深めることができるようにする。また学校行事を通して、周囲の雰囲気に流されるのではなく、自ら考え、判断し、自己の行為の結果に責任を持つことができるようになることで、誠実に実行できるような態度を育てるようにする。</p>

## 4 本時のねらい

### (1) ねらい

善を行おうとする良心の大切さに気付き、誠実に行動しようとする態度を育てる。

### (2) 展開

主な活動と発問	予想される生徒の反応	教師の支援及び留意点○、評価●
1 アンケートの結果を基に、誠実な行動について自分を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分にとって不都合なことはわざわざやらない。</li> <li>正直に行動したいけど、勇気がない。</li> <li>自分でやったことは、自分で何とかしたい。</li> </ul>	○ねらいとする価値に触ることで、関心を高める。 ○アンケートの結果を知り、自分は「誠実」であるかを自覚できるようになる。
2 読み物資料「にじんだ文字」を読み、話し合う。 ○「これからどうしよう」の「これから」には、どのような選択肢があるだろう。 ○「わたしがやりました」という言葉をごくりと飲み込んだ時のひろみは、どのような気持ちだっただろう。 ○どうしてお母さんに相談したのだろう。 ・ワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>黙っておこう。</li> <li>誰かのせいにしよう。</li> <li>正直に先生に言おう。</li> <li>言ったら怒られそうで、言えない…。</li> <li>言った方がよかったです。</li> <li>言わないダメだけれど、やっぱり言えない。</li> <li>自分一人では、どうしてよいのか分からぬから。</li> <li>自分で抱え込んでいるのは苦しいから。</li> <li>「正直に言うべきだよ」と誰かに背中を押してもらいたかったから。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>もっと早くに先生に言っておけばよかった。</li> <li>どんな時でも正直でいることは大切だなあ。</li> <li>自分でやったことなので、きちんと自分で伝えることができてよかった。</li> </ul>	○教師が範読する。 ○やってしまったことに対して、その時の自分の判断が、その後の結果を変えていくことを示唆する。  ○ひろみが、一度は正直に先生に告げようという判断をしていることに気付くようにする。 ○罪悪感はあるが、言えないひろみの弱さに気付くようにする。 ○お母さんに対して言わないという選択肢もあったことを告げ、それでもなお、お母さんに言ったひろみの思いに迫るように促す。 ○ワークシートに自分の考えを書くようにし、意図的指名ができるようにする。 ○今までの流れを押さえ、単に怒られなくてよかったという短絡的な考えにならないように注意を促す。 ○自分の弱い心を克服することで正直に言うことができ、心も軽くなつたひろみの気持ちを考えるようにする。
3 授業を振り返り、感じたことを話し合う。 ○ひろみの心の移り変わりを見て、どんな感想をもちましたか。 ・ワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>うそをつくと、結局自分が苦しくなるので、どうするべきかの判断をきちんとつけることが大切だと思った。</li> <li>自分がやったことに対して責任をもつことは大切だと感じた。</li> </ul>	○アンケートの結果を想起し、自分とひろみを比べることで、これから自分が誠実さとどのように向かい合うかを考えられるようにする。 ●善を行おうとする良心の大切さに気付き、誠実に行動していこうと考えているか。（ワークシート）
4 教師の説話を聞く。		○学んだことを実践できるように意識できるようにする。